

目標達成計画

作成日：平成25 年 12 月 23 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	すいーとハンズ物集女の理念としては、全職員に周知徹底してきており、2ヶ月に1度の「もずめだより」ではご家族に向けて理念をお知らせしているものの、地域密着型の施設として、地域の皆様と共に支え合う項が無かった為、加える。	近隣の皆様にも気軽に立ち寄って頂ける施設として、馴染みの場所になるよう地域の中での存在を認めてもらう。	フロア会議で話し合いを行い理念の変更をおこない、地域密着型の施設としての地域における役目の認識を職員一同で共有する。	1ヶ月
2	6	身体拘束をしないケアについて、正しい理解と認識を職員全員で持つ為には、内外の研修が必須と考えるが、十分な研修が行えているとは言えない。	身体だけではない、言葉や態度にも拘束がある事を知り拘束をしないケアに努める。	外部の研修を積極的に受けるとともに、研修を受けた職員はフロア会議等を通し全職員に落とし込み、内部研修を重ねて行く。何よりも職員全体の意識向上が必要である。	3ヶ月
3	26	介護計画とモニタリングについてのアセスメント情報が少ない。	ご利用者のアセスメントについては、しっかり記録に残す。またモニタリングについても、ご利用者・家族の満足度の記録を残していく。	モニタリングについては、毎月実施していく。アセスメントについても記録に残し、常にご利用者・家族にとってこのケアプランはどうであったかの振り返りを実施し、よりよいケアプランになるよう努めていく。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。